



菜園の野菜に水やりをする3人。  
大きいジョーロを運ぶ2人。  
もう1人は現場監督。

「よいしょよいしょ」と  
運ぶ2人。  
「そこあぶないですよ～」と  
声を掛ける監督。

いろんな参加の形があってOK。  
これも立派な協同作業。

# 力を合わせて

R3.4.19 綾南幼稚園





## はじめてのお弁当

今日は初めてのお弁当の日です。朝から「お弁当まだ？」ととっても楽しみにしている子どもたち。お弁当の時間になると、嬉しそうにカバンからお弁当を出し、満面の笑みでおひるごはんの時間を楽しんでいました。

「みんなで食べるの楽しいな」と思ってもらうことを大切にしていきたいです。



# まるで芸術家のような・・・

れんげ組の女の子が遊びの時間に1人で何かを作っています。その目つきは真剣そのもの。まるで大作を仕上げる芸術家のようなようです。

室内に材料が確保されていて、ゆったり取り組む時間が保障されていると、子どもは作品作りに没頭することができます。

この時間こそ、自ら考え、工夫し、学びへとつながる大切な時間です。



# 空の青と 花の青

年中のクラスで、色水遊びが始まりました。担任が用意したすり鉢とすりこぎを使って、園庭の草花をぐりぐりとすり潰すと、黄色や緑、オレンジなど様々な色が出てきます。

この子はビオラの紫の花を使って色水を作りました。じんわり色が出てくると、「むらさきじゃなくてあおだった！」とびっくり。予想して、試して、結果に心を躍らせる。これが子どもにとっては大切な学びに繋がります。

それにしても、この色水の青と晴天の空の青。我ながら良い写真が撮れました（笑）





# ぼくたちの にじいろはうす



園庭に新しくできた菜園には、子どもたちが植えた野菜が元気に育っています。ふじ組の子どもたちがその菜園に名前を付けてくれました。その名も『にじいろはうす』。

「いろんな野菜の色があることからにじいろという言葉が出てきて、はうすは言葉のニュアンスが気に入ったんだと思います」とみなみ先生。

自分達で考え、自分達で看板も作ることでこの菜園は“ぼくたち”のものになります。きっと野菜やハーブも大切に育てていってくれることでしょう。



# プロの技

R3.4.23 綾南幼稚園



職員室横で飼育しているメダカの水槽。バスの運転手の向山さんはご自宅でも大きな水槽を管理しているメダカのプロなんです。

せっかくなので幼稚園のメダカのおうちも覗いてもらおうと、その日の午後には新しい水草を持って来てくれました。

子どもの身近に何かの分野に精通している大人がいると、子どもの世界は豊かになります。

水槽、がらっと変わっているので

ぜひのぞいてみてください。